

令和4年度船橋小学校運営組織からの回答書

令和 4 年度船橋小学校学校関係者評価委員会による令和5年 1月26日付「令和4年度学校関係者評価委員会提言書」により提言された 1 2 項目について、本校教職員による学校運営組織からの回答を下記のとおり取りまとめる。

記

	提言	部会	担当	回答
1	情報機器を適切に活用するため、保護者と共通認識をもち、子ども達にメディアバランスの指導を行う必要があること	研究推進部	教科外	タブレット端末の使用に関するルールを教員や代表委員会の児童を中心に検討した。ルールを基によりよくタブレット端末を使用できるよう更に指導を行っていく。
2	保護者が困りごとを学校に気軽に相談できるよう、校務の多忙が、学校と家庭双方のやり取りの阻害要因とならないように工夫する必要があること	教務部 生活指導部	教科外	令和 5 年度から本格稼働となる新校務システムを活用することにより、教員間の連絡や通知表作業の負担を軽減していく。また、保護者とコミュニケーションを取る機会を増やすため、保護者会は 1 2 3 年おおよそと 4 5 6 年を分けて実施する。
3	キャリア教育を充実させ、保護者への理解の促進を行うこと	研究推進部	教科外	キャリアパスポートを効果的に使用できるようにし、児童に活用方法を指導することや保護者と共有することを充実させる。
4	学校重点目標について、保護者の理解を促す機会を設けること。	教務部	教科外	まずは、教員がしっかりと学校重点目標を理解する必要がある。そして、保護者会時に学校重点目標について学年・学級で説明する機会を設ける。各学期ごとに学校重点目標について振り返る期間を設けるなど、目標を意識した教育活動を展開していく。
5	学校生活における、児童の辛さについて学校・保護者双方の認識を高めること。	生活指導部	生活指導	今年度は、単 P 研修会が対面で開催されたため、教員と保護者でのやり取りができた。保護者会や個人面談、電話対応等で丁寧に対応している。学校で実施している Q U の結果も保護者に伝えているので、今後も継続していく。
6	幼稚園・小学校・中学校との連携活動について児童、保護者、地域への周知を図ること。	教務部	教務	年間 3 回の学び舎の日の活動をホームページに取り上げたり、学年便りで中学校との連携について記事を書いたりする。
7	学校の様子が地域の方に分かるようにすること	教務部	教務	ホームページへの up 数は、今年度と同じ位の回数とし、年間で 6 0 0 回程度の up を目指す。また、学校便りの裏面には、児童の感想や学年の取り組み内容を載せるようにし、ホームページが見られない方にも学校の様子が伝わるようにする。
8	学校協議会・合同学校協議会・学校運営委員会などの会議体についての活動を理解してもらうこと	教務部	教務	学校運営委員会で話し合った内容については、毎回、学校運営委員会だよりとして保護者と地域の方に配布している。
9	学校と家庭との連携を図ること	教務部	教務	コロナ禍により、保護者が学校に來校する機会が減ってしまった。現在は、コロナ禍前に戻りつつあるので、多くの保護者に授業や行事などを参観してもらう。そして、保護者会や面談で児童の様子などについて共通理解し、連携していく。
10	地域と関わる事が減っていること	教務部	教務	コロナ禍により減っていた地域行事や地域の人との交流も元に戻りつつある。夏休みのラジオ体操や防災訓練など、多くの児童が参加しているので、より多くの児童が地域行事に参加できるよう教員も促していく。
11	安全確保について	生活指導部	生活指導	月 1 回の安全指導では、児童の成長に即した指導内容を実施する。避難訓練では、火事・地震・不審者などに対応できるよう、訓練後に自分の行動を振り返る時間を設ける。児童一人一人の安全に対する意識を高めていく。
12	学校運営について、地域に広報や説明の機会を設けること	教務部	教務	ホームページに学校運営に関する情報があることを伝える。